

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

| | |
|-------------|--|
| NITS・教職大学院等 | 実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院 |
| コラボ研修プログラム | 事業名：【NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修】 1人1台情報端末時代の保護者の役割を考える ～学校と家庭で取り組むデジタル・シティズンシップ～ |
| 支援事業報告書 | 研修等名： テクノロジーの善き使い手を育てる ～家庭で取り組むデジタル・シティズンシップ教育～ |
| | 開催日時：令和5年7月15日 9時～11時30分 開催場所：オンライン 熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号） 参加人数（総数）と参加者の属性：（130人）保護者55人、学校関係者65人、その他10人 |

- 内容：**
- 1 開会・挨拶・趣旨説明
 - 2 講演：「テクノロジーの善き使い手を育てる」
豊福晋平氏（国際大学グローバルコミュニケーションセンター准教授）
これから目指す教育・学校の在り方を踏まえて、デジタル・シティズンシップについて保護者を対象とした講話をしていただいた。具体的な事例を踏まえながら、大変分かりやすい内容であった。
 - 3 パネルディスカッション：「家庭で取り組むデジタル・シティズンシップ教育」
パネリスト 豊福晋平氏、古川さとこ氏（熊本市議会議員）
小寄友和氏（熊本市PTA協議会副会長）、前田康裕氏（熊本大学特任教授）
コーディネーター 田中慎一郎氏（熊本市立帯山中学校教頭）
それぞれの立場から、1人1台情報端末が整備されたことの良さや課題、取組が共有された。
それぞれで取り組むこと、互いに連携して取り組むことが整理され、連携する大切さが確認された。
 - 4 閉会・アンケート

成果：研修後のアンケート（60人回答） とも役に立った（45人・75%） 役に立った（15人・25%）
あまり役に立たなかった（0人・0%） 役に立たなかった（0人・0%）

（自由記述）

- 個人にとどめるのではなく、社会に関わっていく、参加していくという要素が必要という内容に、特に気づきがあり、とても考えさせられました。
- パネルディスカッションで、具体的なお声や感じ方などが聞けたのも、参考になりました。保護者目線の心配事に寄り添った内容で、不安が解消されました。PTAを巻き込んで保護者もデジタル・シティズンシップを学ぶ場を作り、教職員の方々にも柔軟に学んでほしいと願います。大人も学び続けていかなければと思います。
- デジタル・シティズンシップの話の中で出てきた「共愉と学びのつながり」が印象に残りました。子どもたちが主体として参画する場を意識的につくっていくことで、大人も子どもも活動（学び）をとおして楽しみながらつながっていく、と現在構想していることと重ねながら拝聴しました。
- 子供たちの端末の活用に目が行きがちですが、大人がこれからの社会に生きていく子供たちのために必要な知識を与えながら子供と共にその活用について考えることが大切だと感じました。
- テクノロジーを活用しながら社会に参画していく経験や、その経験を通して感じることのできる自己有用感がこれからの社会を築き、よりよいものを目指していく人材になっていくのだと感じました。
- 社会に向けての発信、責任は負うモノ、大人がやって見せる、大人も学ぶ、学びの社会化、などが印象に残りました。
- 豊福先生のお話からは、新たな言葉だけでなく概念を学びました。学校と家庭、そして社会もつながった学びの中でテクノロジーを有効に使っていくことが大事であり、使っていく中で新たな発見をしながら well-being に向かっていくような教育のあり方を考えていきたいと思いました。

アイデアや工夫したこと： ※3～5つ程度の箇条書きしてください。

- ・学校関係者、PTAへのチラシ配布のほかに、SNS、各学校の安心安全メール等での呼びかけを充実した。
- ・デジタル・シティズンシップについての第1人者である豊福先生に登壇いただいた。
- ・PTA、保護者、学校現場と、立場の違う方に登壇いただき、パネルディスカッションを行った。
- ・教育センターの Kumamoto Education の取組と連携をして行った。
- ・参加者の意見をチャットで集約し、できるだけ取り入れながら会を進めた。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

よさ



デジタル・シティズンシップ

タブレットの使いすぎ・視力低下・依存症等
効果的な家庭での学習方法
学校での活用

心配

趣旨説明 金井 義明 氏



講話 豊福 晋平 氏



パネリスト 古川 さとこ 氏



パネリスト 小寄 友和 氏



パネリスト 前田 康裕 氏



コーディネーター 田中 慎一郎 氏



パネルディスカッション

今回は ZOOM ウェビナーでの実施ため、参加者の表情を記録することはできませんでした。